

** 2012年4月 第6版
製造販売業者の住所変更に伴う改訂等
* 2007年2月 第5版 改訂

日本標準商品分類番号 872645
承認番号 16000AMZ04473000
薬価収載 1972.11
販売開始 1972.11
再評価結果 1982.1

鎮痛、鎮痒、消炎剤

日本薬局方

d-カンフル

(樟脳)

d-Camphor

<貯法>

容器：気密容器

* 販売名：d-カンフル「コザカイ・M」

【組成・性状】

本品1g中、日局d-カンフル1gを含有する。
本品は無色又は白色半透明の結晶、結晶性の粉末又は塊で、特異な芳香があり、味はわずかに苦く、清涼味がある。

【効能・効果】

(外用)

下記疾患における局所刺激、血行の改善、消炎、鎮痛、鎮痒
筋肉痛、挫傷、打撲、捻挫、凍傷（第1度）、凍瘡、皮膚癢痒症

【用法・用量】

通常、1～10%の軟膏、10%のアルコール溶液、10～20%の植物油溶液又は2～4.5%の石ケンカンフルリニメントとして患部に適量を塗布あるいは塗擦する。

【使用上の注意】

副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻度不明
過敏症 ^{注)}	発赤、発疹等

注) このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

【適用上の注意】

湿潤面への使用は避けること。[水疱性タイプの症状には有害であるため。]

【薬効薬理】

局所刺激作用があり、皮膚内への浸透性が強く、血管を拡張し発赤を与え、神経反射を呼んで、鎮痛、鎮痒作用を示す。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：d-カンフル、樟脳 (d-Camphor)

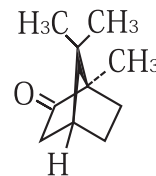
* 化学名：

(1R,4R)-1,7,7-Trimethylbicyclo[2.2.1]heptan-2-one

分子式：C₁₀H₁₆O

**分子量：152.23

* 構造式：



性状：無色又は白色半透明の結晶、結晶性の粉末又は塊で、特異な芳香があり、味はわずかに苦く、清涼味がある。エタノール(95)、ジエチルエーテル又は二硫化炭素に溶けやすく、水に溶けにくい。室温で徐々に揮散する。

【取扱い上の注意】

<配合変化>

有機物質を溶解する性質があるのでアンチピリン、抱水クロラール、メントール、フェノール、レゾルシン、サリチル酸と混和すると湿潤又は液化する。

【包装】 25g、500g

製造販売元



小堀製薬株式会社

**東京都墨田区両国 4-36-9